修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（嶋ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

三地区

修旅連絡協総会開く

「新教育課程」に対処

会長に鯉淵一郎氏が就任

関東・東海・近畿三地区修学旅行連絡協議会の本年度総会は「よりよい修学旅行をめざして」を主題に、七月二、三日、岐阜市長良川のホテルパークみなと館に森幾松会長をはじめ全役員のほか顧問の全修協理事長・山本種一氏も出席して開催、会長に鯉淵一郎氏を選出、本年度事業計画など諸議案を審議決定した。山本理事長は挨拶のなかで「模索と転換の時代を迎えた現在、校外活動をふくむ修学旅行に対する研究姿勢も当然変化が求められる。精神的固渇の状況下で修学旅行の持つ意義は大きくわれわれの使命は重大である。新教育課程の施行に伴って修学旅行への対処も緊急事であり、組織あげてこれに取り組みたい」と決意を表明した。

鯉淵一郎会長

続いて議事に入り①昭和五十五年度事業報告②の特別委員の項変更に伴う規約改正では特別委員の任期を原則的に二カ年とすることを決めた。

役員の改選では新会長に関東地区中学校修学旅行委員会会長の鯉淵一郎氏を選出したほか各役員を別項の通りそれぞれ決定。

鯉淵一郎氏の会長就任挨拶があったあと議事に入り、本年度の事業計画案などのほか、秋の代表者会は十一月二十六、二十七日関東地区で開催することを決定した。各地区からの状況報告でおもなものは次の通り。

発言はつぎの通り。

関東＝国鉄利用の修学旅行は年ごとに増えるが、新幹線はもちろんのこと、つなぎ列車も窮屈をきわめている。国鉄運賃などの高騰で旅行費もかさみ、ある県の試算によると京都へ行くのにバス利用のほうが安いという。新幹線の特急料金割引き案引き下げでも行われれば国鉄ばなれは火を見るより明らかだ。研究協力校は昨年度は栃木県が担当、宇都宮市で、発表会を持った。本年度は埼玉県だが来年の二月五日、大宮市で発表会を開催するほか運営委員会も今後数回開く。また、東北方面の現地研修会は八月十八日から三日間、関西方面への現地研修会は十二月三日から同五日まで実施する。

東海＝修学旅行のよりよい成果を求めるため編成委を設け、諸陳情や要請の運動を行っている。国鉄の修学旅行集約列車に対する措置が次第に冷たくなってきている。例えば集約臨五本が四本に減るなど圧迫が加わっている。これに、もし新幹線割引き案引き下げが行われれば修学旅行は危機に陥入るだろう。

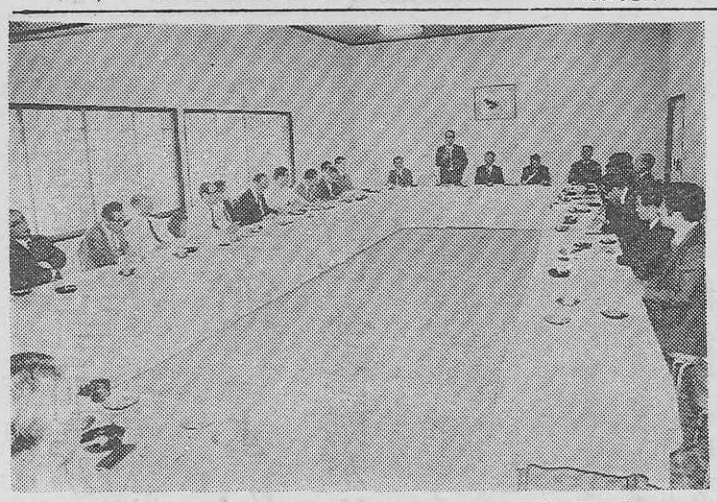
近畿＝九州方面への修学旅行が増え、関東方面と入れ替わる傾向にある。昨年度、九州方面への集約臨一本をつくってくれたが、時間帯が悪いので旦下変更を要請している。同時に信州方面復路の夜行を昼間にすることも希望している。身障生徒のため列車に必ず車イスの出入口を設けてほしい。身障者の入学が激増している現状に対して国鉄が考えねばならぬ問題であろう。

さらに国鉄新幹線の割引き案引き下げ説に対しては全員がこれを阻止することを申し合わせたが、山本種一全修協理事長は次のように修学旅行専用列車誕生の経緯を述べた。

「東海道在来線である東海地区のこまどり号、近畿のわかば号、関東のわかくさ号は、いずれも全修協の利用債で設定したものである。新幹線が開通したとき、これらの専用列車を国鉄が利用するかわりに新幹線の特急料金を中学生五〇%、高校生二〇%引きとすることになった。これらの特典は先生がたの努力の結果であったことを知っていただきたい」

議長の鯉渕会長は「今後のこの問題に対する運動は全修協とともに推しすすめたい。さらに新教育課題と修学旅行の関係についても十分に研究を続け生徒たちのためによりよい修学旅行を確立したい」と決意を表明し午後五時すぎ第一日を終了、夜は同所で新旧役員の歓送迎会が盛大に開かれた。翌日は犬山城、明治村などを見学、午後二時名古屋駅で解散した。

今回の総会決議により三地区修旅連絡協と全修協は修学旅行の改善向上に邁進することになった。


三地区修旅連絡協の総会で挨拶する全修協の山本種一理事長。

「割引き率」も焦点

第一日の七月二日午後二時、森幾松会長は「野呂正光会長が江南市教育長になられたため残りの期間の会長を無事につとめさせていただいた。これには河又英一副会長など役員みなさまのお力添えがあり感謝にたえない。また本年二月、全修協の創立二十五周年記念総会に出席させていただき、全修協と相携えて業務を執行したい」と挨拶した。

顧問の全修協理事長・山本種一氏は「教育現場の、しかも修学旅行の権威者である諸先生が一同に会され、総会が開かれることを喜びたい。現在は模索と転換の時代といわれるが、教育界にあっては同和教育、教科書、青少年の非行校内暴力など諸問題が山積しており、過去の経験だけでは解決し得ない状況にある。知識習得が第一義となった教育は、受験、学習塾ひいては学校教育不要論にまで発展している。物質的な豊かさの反面、精神的には固渇の様相を示している現在、修学旅行を中心とした教育活動こそわれわれに課せられた義務ともいえる。体験学習をふくむ校外活動全般の教育的使命をどう持っていくか、前途には多くの難関が立ちはだかるであろうが、われわれはこの三地区修旅連絡協とともにその打開に邁進したい」と挨拶した。

三地区協の役員

本年度の役員は次の通り（順不同、敬称略）

▽会長　鯉淵一郎（茨城県水戸市立第二中学校長）
▽副会長　飯田孝光（愛知県名古屋市立瑞穂丘中学校長）南裕之（大阪府河内長野市立千代田中学校長）
▽運営委員　高橋尹祓（埼玉県鳩ケ谷市立鳩ケ谷中学校長）久世正弘（岐阜県大垣市立東中学校長）谷田隆（兵庫県宝塚市立中山五月台中学校長）
▽特別委員　河又英一（前栃木県宇都宮市立陽北中学校長）大野景徳（前千葉県市川市立第一中学校長）森幾松（愛知県稲沢市立稲沢中学校長）福井繁（前大阪府河内長野市立長野中学校長）水本八千穂（前和歌山県日高郡美浜町立松洋中学校長）
▽顧問　山本種一（財団法人・全国修学旅行研究協会理事長）
▽参与　前田寛（財団法人・全国修学旅行研究協会事務局長）
▽事務局長　藤田勝次郎（財団法人・全国修学旅行研究協会麻務部長）

暑中お見舞い申しあげます

昭和五十六年　盛夏

財団法人　全国修学旅行研究協会

理事長　山本種一
常務理事　永井熙一
同　村山助雄
理事　高田治郎
同　成瀬治幡
同　完戸一郎
同　青山良道
同　魚谷時太郎
同　辻原弘市
監事　芦田重左衛門
同　尻一雄

本部事務局

局長　前田寛
経理部長　金谷ユキ子
広報部長　早川泰雄
庶務部長　藤田勝次郎
調査研究部長　西沢四郎
中央研修部主管　竹内雅量
中央研修部員　山内憲二
本部相談役　白滝末紀
参与　鈴木春之助
調査役　森本良雄

大阪事務所

所長　曽田震五
同所員　貴志吉子
同　牧野芳子
調査役　小西惣二郎

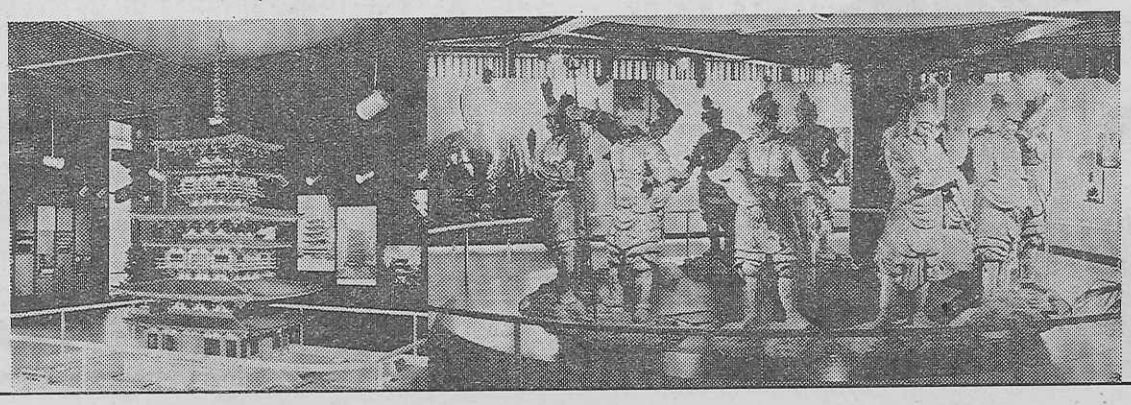
名古屋分室

分室長　鬼頭藤松

風紋

岐阜で開かれた三地区修旅連絡協総会の二日目は明治村の見学であった。ぜひ一度は行ってみたいと思っていただけに念願がかないうれしかった。とくに明治うまれの筆者には陳列されている建造物などに「遠くなった明治」を思い起こさせた▼もちろん幼ないころの私にとって、明治の東京はすべて印象に残っているわけではないが、少くとも関東大震災で難をのがれ、また大平洋戦争で焼け残った建物は私の脳裏に刻まれている。その後、高度経済成長の影響で古いものがいたって無雑作にとりこわされていった。現在でも全国いたるところで同じことが行われている▼東京の例でいえば、すでに丸の内の練瓦街がいわゆる近代建築となり、東京駅も新しくなるという。明治時代のものではないが、日劇も朝日新聞社も解体されつつある。もちろん破損が進み危険を伴うとか、効率を高めるためには取りこわすことも必要であろうが、多くの歴史を綴った建造物がいたって簡単に失われていくのは残念である▼明治村でチンチン電車にのった。ここの電車は京都のものだが、東京でも同じ型の市電が走っていた。筆者の子どものころ、近くの「一高前」（現在の文京・東大農学部前）まで路線が延長された。終点の折返しだから車掌がポールの紐を引っ張って後方へ運ぶのだ。筆者は車掌に頼んでやらせてもらったが、バネが強くて宙づりとなり、車掌があわてて抱きかかえてくれたことも思い出である▼この電車は運転台、車掌台にガラスも無く、雨や風雪の吹きさらしである。運転士は鼻水をすすりながら手巻きのブレーキをかけ、車掌は切符や乗りかえ券を切ったり、交差点にかかるとポールがはずれないように紐を握りしめていた▼そのチンチン電車も自動車の洪水に押し流され、一部の地区を除いて路面から消えてしまった。明治村は、なつかしい昔を、じゅうぶんにしのばせてくれた。（は）

奈良大和路の1,300年を、1ケ所にあつめました。



奈良歴史教室

日本のふるさと〈奈良大和路〉
その素晴らしい歴史・文化・美術から
年中行事・観光の見どころまで
模型・写真・スライドなどでわかりやすく解説。
大和路をより深く、より楽しく理解できる歴史教室に
ぜひお立寄りください。

入館料 200円
こども100円 団体(25人以上)は割引
営業時間 10時～18時(月曜休館)
近鉄奈良駅ビル4・5階 お問合せ ☎0742(24)3901

近鉄

退職者向けコース

よい季節によい旅を

グリーン・ツアー　全修協が誇る新企画

全修協主催の秋季研修旅行は退職者向けのグリーン・ツアー三コースで実施する。いずれも九月から十月にかけての好シーズンにふさわしい日程でゆとりある旅がたのしめる。とくに「日本一周」は全修協の新企画として注目を浴びるだろう。この「日本一周」と「九州一周」には航空会社が協力、快適な旅をめざしている。

八甲田・十和田
＝みちのくの紅葉

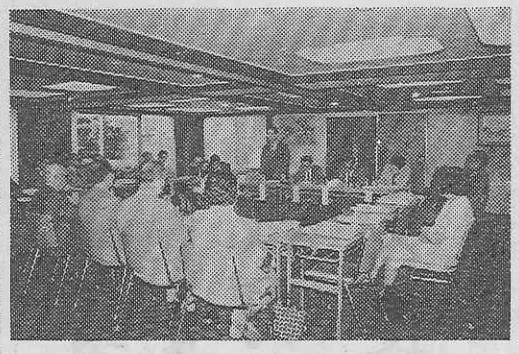
募集＝関東、北陸。東海。
出発日＝①十月十二日②十月十三日。
定員＝各団四十五名。
会費＝七万二千九百円（上野駅発着）
しめきり＝九月二十六日（定員になりしだいしめきり）
コース＝①上野（九・三三特急やまびこ三号）―一の関―中尊寺―厳美渓（泊）②盛岡・郷土資料館―渋民・啄木記念館―東八幡平―八幡平アスピーテライン―十和田南―発荷峠―休屋（泊）③十和田湖遊覧―子の口―銚子大橋―奥入瀬渓流―石ケ戸―八甲田山（ロープウェイ）―雪中行軍銅像―青森―（特急ゆうづる一〇号、車中泊）―④上野。
▼みどころ　十月になると東北では秋たけなわ。紅葉の十和田湖・奥入瀬渓流中心のコース。

日本一周
＝札幌―福岡―沖縄の旅

☆日本航空協力。
募集＝関東地区。
出発日＝①十月一日②十月二日
定員＝各団四十名。
会費＝十五万八千円（羽田空港発着）
しめきり＝八月三十一日（定員になりしだいしめきり）
コース＝①羽田空港―千歳空港―白老アイヌ部落―登別（地獄めぐり）―洞爺湖温泉（泊）②洞爺湖上遊覧―昭和新山―（中山峠）―札幌・サッポロビール園―札幌公園―札幌市内見学―千歳空港（泊）③札幌市内見学―千歳空港―福岡空港―博多（泊）④柳川の川下り、白秋生家―太宰府―福岡空港―那覇空港―那覇（泊）⑤守礼の門―東南植物園―海中公園―万座毛―（自由行動）―那覇（泊）⑥南部戦跡・海軍壕、ひめゆりの塔、平和祈念公園―那覇空港―羽田空港。
プレゼント＝ANAマーク入りキーホルダー、大型ショッピングバッグ、各ホテルから記念品。

九州一周
＝郷土芸能と味覚の旅

☆全日空協力。
募集＝関東地区。
出発日＝①九月十八日②九月十九日。
定員＝各団四十名。
会費＝十一万八千円（羽田空港発着）
しめきり＝八月二十四日（定員になりしだいしめきり）
コース＝①羽田空港―長崎空港―平和祈念像、大浦天主堂、グラバー園、唐人館、長崎（泊）②雲仙―島原―三角―熊本・熊本城、水前寺公園―熊本（泊）③阿蘇山―瀬の本高原―別府・地獄めぐり―別府温泉（泊）④高崎山―延岡―宮崎・宮崎神宮、平和公園―宮崎（泊）⑤青島・サボテン園、鵜戸神宮―桜島・桜腰―鹿児島―指宿温泉（泊）⑥長崎県、池田湖―鹿児島・磯庭園、尚古集成館、城山―鹿児島空港―羽田空港。
プレゼント＝JALから日本一周証明書、JALマーク入りキーホルダー、大型ショッピングバッグ、各ホテルから記念品。



1室利用の配慮も

都支部で研修旅行座談会

【関東支部】全修協東京都支部（青山良道支部長）主催の「研修旅行を語る会」は六月十八日午後二時から東京・千代田区の東京グリーンホテル淡路町で開催。参与の鈴木春之助氏（都教職員互助会参事）が司会者となり、本年の夏季研修旅行のコース案内、出席者による旅行についての意見や希望などが述べられた。そのうちおもな発言をひろってみると―。

☆全修協の研修旅行は教職員が中心となっているためお互いに気ごころがわかって楽しい。

☆旅行中に組まれている研修行事がすばらしい。これは他に追従をゆるさないものだろう。

☆さいきんは一室利用の制度もでき、とくに高齢者や家族づれにとって幸いだ。

☆会費は他の類似コースと比較してみても安いとおもう。

☆実施会社の添乗員は親切、安心して旅行ができる。

☆印刷物の宣伝物も必要だが、口コミも活用したい。われわれも知人を勧誘して参加者を増やしたいとおもう。当日の出席者は次の通り。（順不同、敬称略）

森本良雄、今野伸一、飯田清、小磯清五、桑原亥左雄、小池七郎、片畠富二雄、北沢新治、池田秋子、池沢弘人、跡部まさ子、田中元子、井口範之、三沢守男、岩田久年、小林八千代。

【全修協】鈴木春之助（参与）、前田寛（事務局長）、早川泰雄（広報部長）、藤田勝次郎（庶務部長）、竹内雅量（中央研修部主管）＝写真は挨拶する鈴木春之助参与

「乗物ガイド」

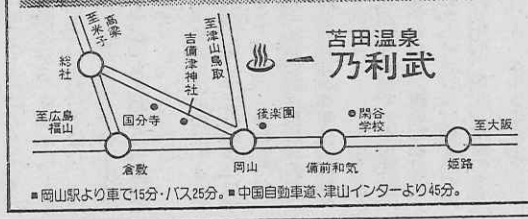
京都散策に必携の書

京都に関するガイド・ブックるいは数多く発行されているが、この本は市内観光を効率よくするために編まれた。じゅうぶんな実施調査を行って完成させたのは、さすが地元の出版社である。

地区ごとに詳細な地図で説明しているほか、社寺、庭園などの美しい写真、親切な解説も楽しく、市内バス、新しく開通した地下鉄の乗りもの案内は利用価値が高い。京都を訪れる観光客の必携書。同社は「近畿の旅」など修学旅行用のガイド・ブックを多く発行している。B5横判、オール原色刷、三百円。京都市南区西九条鳥居口町五、（株）教材研究所（電話〇七五―六八一―一五九一）

山陽路　岡山のお宿

10,000坪の庭園を擁し、おもちつき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)
昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承わります。



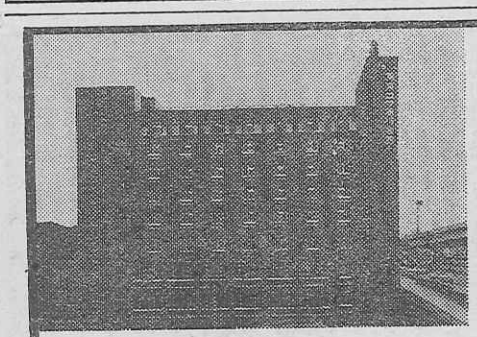
■岡山駅より車で15分・バス25分。■中国自動車道、津山インターより45分。

政府登録国際観光旅館
とまだ苫田温泉乃利武
〒701―11　岡山市桂谷1453
☎086294―2321　TELEX. 5922―621

思い出の修学旅行
印象的な――
瀬戸内海の船旅。

●阪神／別府直行・大型フェリー（毎日1便）
●阪神／別府航路（毎日2便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
★貸切船「こはく丸」もご利用下さい。

お問合せは　関西汽船
●大阪市北区梅田1―1・TEL(06)344-7031
●東京都中央区八重洲1―4―14・TEL(03)274-4273
及び、各地支店駐在員、旅行代理店へ



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

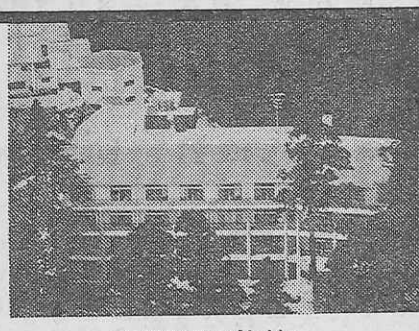
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585―1046(代表)
東京コマ旅行会館

修学旅行のお宿に
全館を開放

■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館　〈収容600名様〉
■延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775―78―0047・0554
TELEX　5464―917

信頼される旅づくり
こんな笑顔、残してあげたい。
修学旅行

近畿日本ツーリストは、生徒のみなさんに素晴らしい修学旅行を…の願いから、教育映画の制作に取り組んでいます。現在のライブラリーは、中学・高校生を対象とした『学習の旅シリーズ』全15篇。そして社会・文化・歴史・教育・観光・自然など、幅広い分野から制作された『ツーリスト映画シリーズ』全15篇(国内10・海外5)。いずれも修学旅行の事前指導、学習教材としてご活用いただけます。ツーリストはこのような文化活動を通じて、教育・一般社会のみなさまにお役に立つよう、努力を続けています。

⊙ツーリスト映画リスト　※修学旅行の事前指導や学習教材に、どうぞお気軽にご利用ください。

学習の旅シリーズ			ツーリスト映画シリーズ(国内)			ツーリスト映画シリーズ(海外)		
題名	上映時間	受賞	題名	上映時間	受賞	題名	上映時間	受賞
北海道・道東	20分		北海道	29分	文部省選定	ヨーロッパの旅	30分	日本産業映画奨励賞(第14回)
北海道・道南	20分	文部省選定	京都の庭園	26分	文部省特選			
東北	20分		京都の川	34分	文部省特選・芸術祭大賞(46年)	大いなるアメリカ	30分	
日光	15分	文部省選定				アメリカ西海岸の旅	30分	
東京	15分		大和の塔	38分	文部省選定	ハワイの休日	33分	
富士箱根	20分	文部省選定	大和の石	25分	文部省選定・文部大臣賞	東南アジア	30分	
信州	20分	文部省選定						
京都	20分	文部省選定	大和の道	25分	文部省選定・文部大臣賞			
奈良	20分	文部省選定						
伊勢志摩	22分		南紀	28分				
山陽山陰	23分	文部省選定	瀬戸内海	28分	文部省選定			
九州やまなみ	20分	文部省選定	沖縄の心	31分	文部省選定			
九州西海	20分	文部省選定	うつわ(食器の文化)	41分				
南九州	20分	文部省選定						
光あふれる沖縄	21分							

近畿日本ツーリスト
㊫運輸大臣登録一般旅行業第20号